

(社) 日本船舶海洋工学会関西支部・関西船舶海洋流体力学研究会 シンポジウムー気候変動研究の最前線ー

本年6月にドイツのハイリゲンダムで開催されたG8(先進国首脳会議)では、地球温暖化対策が最重要課題として話し合われ、日本の安倍前首相が提案した「2050年までに温室効果ガス排出を50%削減する」という長期目標が、各国首脳に受け入れられました。また10月には、本年度のノーベル平和賞に、映画「不都合な真実」でアカデミー賞を受賞したアル・ゴア元米副大統領と、国連の下に世界中の科学者によって組織された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の2者が選ばれています。このように、気候変動とその対策については、政府間のみならず、私たちの身近な話題としても現在最も注目されている問題となっています。そこで(社)日本船舶海洋工学会関西支部と関西船舶海洋流体力学研究会(KFR)は、地球規模での気候変動と海洋生態系への影響に関する予測研究の最前線を学ぶとともに、船舶海洋工学が貢献できる技術としてどのようなものがあるのか、関西圏の海の環境はどのように変化しつつあるのか、といった話題を議論することを目的として、「シンポジウムー気候変動研究の最前線ー」の開催を企画いたしました。年末の忙しい時期ではありますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと存じます。

□主催：(社)日本船舶海洋工学会関西支部・関西船舶海洋流体力学研究会(KFR)

□日時：2007年12月21日(金)13:00~19:00

□場所：(株)川崎造船 パトリシア会館(別紙地図参照)

□プログラム：

13:00-14:00 基調講演1 「二酸化炭素ゼロ排出世界に向けて」

丸山康樹氏(電力中央研究所 環境科学研究所 主席研究員)

14:00-15:00 基調講演2 「二酸化炭素濃度上昇による海の酸性化」

石田明生氏(海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター 研究員)

15:00-15:20 休憩

15:20-15:50 一般講演1 「二酸化炭素海洋隔離ー中層溶解技術ー」

佐藤 徹氏(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

15:50-16:20 一般講演2 「二酸化炭素海洋隔離ー深海貯留技術ー」

城田英之氏(海上技術安全研究所 深海技術研究グループ 主任研究員)

16:20-16:50 一般講演3 「紀伊半島周辺海域の環境と動植物相の変化」

①サバ類の例

土井内 龍氏(和歌山県農林水産総合研究センター水産試験場 副主査研究員)

②藻類の例

山内 信氏(和歌山県農林水産総合研究センター水産試験場 主査研究員)

16:50-17:20 総合討論

17:30-19:00 交流会(会場：海友館、パトリシア会館より徒歩3分)

□交流会費：一般3,000円/人、学生1,500円/人(当日会場にて徴収します)

パトリア会館へのご案内



<最寄り交通機関>

- JR「神戸駅」下車，徒歩8分
- JR新幹線「新神戸駅」下車，タクシー10分
- 高速神戸鉄道「高速神戸駅」下車，徒歩10分
- 市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」下車，徒歩8分

(社) 日本船舶海洋工学会関西支部・関西船舶海洋流体力学研究会

シンポジウムー気候変動研究の最前線ー

参加申込票

氏名	
所属 (学生の場合は明記)	
連絡先	住所 TEL : FAX : E-mail :
シンポジウム	参加 不参加
交流会	参加 不参加

□申込先：日本船舶海洋工学会 関西支部事務局
〒565-0871 吹田市 山田丘 2-1
大阪大学大学院 工学研究科 船舶海洋工学専攻 気付
TEL: 06-6879-7593, FAX: 06-6879-7594
E-mail: office@kansai.jasnaoe.or.jp

※上記個人情報は本イベントの運営目的以外には使用いたしません。